

## 検診の内容と対象者

検診の種類	検診内容	対象者
胃がん検診(胃部X線)	バリウムを飲んだあと、胃のX線写真を撮ります	40歳以上のかた
肺がん検診	胸のX線写真を撮ります(問診で必要と判断した場合のみ喀痰細胞診検査が追加されます)	
大腸がん検診	採便キットに、自宅で2日分の便を採って提出します	
肝炎ウイルス検診	採血し、血液中のHBs抗原・HCV抗体の値を測定します	40歳のかたおよび過去に受診したことがない41歳以上のかた
前立腺がん検診	採血し、血液中の前立腺特異抗原(PSA)の値を測定します	65歳の男性のみ
乳がん検診	乳房を板ではさんだ状態でX線写真を撮ります ※40代のかた：2方向、50代以上のかた：1方向	40歳以上の女性で前年度受診していないかた
子宮頸がん検診	子宮頸部の表面をブラシ状の器具でこすって細胞を採取して検査します	20歳以上の女性で前年度受診していないかた
骨粗しょう症検診	集団検診・はるさき健診センター：超音波を使って、かかとの骨の密度を調べます 宇野病院・富田病院：放射線を使って腕の骨の密度を調べます	
胃がんのリスク検査 (ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査)	採血し、ペプシノゲン及びヘリコバクター・ピロリ菌の抗体を測定します	40歳のかたのみ
子宮頸がんのリスク検査 (ヒトパピローマウイルス(HPV)検査)	子宮頸部の表面をブラシ状の器具でこすって細胞を採取して検査します 子宮頸がんの主な原因とされているヒトパピローマウイルス(HPV)に感染しているかいないかが分かります	子宮頸がん検診を受ける20～49歳のかた

### [ヒトパピローマウイルス(HPV)について]

子宮頸がんは、主に性交渉によりHPVに感染することで発症します。このウイルスに感染すること自体は決して特別なことではなく、誰でも感染する可能性があります。HPVはほとんどの場合、自然に排除されますが、排除されずに長期間感染が続く場合があり5～10年以上かけてがん化することがあります。HPVは何度でも感染する可能性があるため、「陰性」と判定されたかたも定期的に検査を受けることをお勧めします。

### <注意事項>

- **胃がん検診(胃部X線)**：体重が135kgを超えるかたは、集団検診・センター型検診では受診できません。  
心臓病や腎臓病で水分制限があるかた、麻痺や骨折等により起立が困難なかた、バリウムを飲んで発疹や息苦しさなどを自覚したことがあるかた、腸閉塞(イレウス)を繰り返しているかた、1年以内に炎症性腸疾患または大腸憩室炎の治療を受けたことがあるかた、胃全摘術後のかた、妊娠中・妊娠の可能性のあるかたは受診できません。  
5日以上排便のないかたは、受診できない場合があります。
- **肺がん検診**：妊娠中のかた、妊娠の可能性のあるかたは受診できません。
- **大腸がん検診**：採便容器の返却や検体の未提出等により検査を中止しても返金はありません。
- **肝炎ウイルス検診**：過去にB型肝炎・C型肝炎検査を受けたことがあるかた、または、B型肝炎・C型肝炎で現在医療機関に通院中または経過観察中、過去に受診歴のあるかたは受診できません。
- **前立腺がん検診**：PSA はがん以外の疾患でも上昇する場合や、がんでも上昇しない場合があります。あくまで、体の中にがんが存在するかどうかを判断する際に補助となる検査です。
- **乳がん検診**：妊娠中、妊娠の可能性のあるかた、授乳中、授乳終了後6か月未満のかた、ペースメーカー装着のかた、V-Pシャント(脳室-腹腔シャント)のあるかた、豊胸手術後のかたは受診できません。生理が終わって1週間くらいの時期(乳房がやわらかい時期)をお勧めします。
- **子宮頸がん検診**：生理中のかた、性交経験のないかた、子宮全摘術後のかたは受診できません。妊娠中で子宮頸がん検診を希望されるかたは、妊婦健診受診先の医師にご相談ください。  
体重が135kgを超えるかたは、集団検診・センター型検診では受診できません。
- **骨粗しょう症検診**：宇野病院・富田病院では妊娠中のかた、妊娠の可能性のあるかたは受診できません。